

# 精神医学講座

## 著書

- 1 門司 晃：第10章 神経認知障害群〈認知症とその周辺〉. 公認心理師の基礎と実践22－精神疾患とその治療, 149-163. 遠見書房. 東京 2020, 7.
- 2 國武 裕, 門司 晃：1. 精神・神経系の病気とくすり B中枢系疾患 うつ病, 躁うつ病（双極性障害）. 薬局 2020年増刊 病気とくすり2020 基礎と実践 Expert's Guide, 71(4)：48-57. 南山堂. 東京 2020, 3.

## 原著論文

- 1 Mizoguchi Y, Yao H, Imamura Y, Hashimoto M, Monji A: Lower brain-derived neurotrophic factor levels are associated with age-related memory impairment in community-dwelling older adults: the Sefuri study. *Sci Rep* 10(1): 16442, 2020, 10.
- 2 Kunitake Y, Imamura Y, Mizoguchi Y, Matsushima J, Tateishi H, Murakawa-Hirachi T, Nabeta H, Kawashima T, Kojima N, Yamada S, Monji A: Serum Oxytocin Levels and Logical Memory in Older People in Rural Japan. *J Geriatr Psychiatry Neurol* 34(2): 156-161, 2021, 3.
- 3 Tateishi H, Mizoguchi Y, Kawaguchi A, Imamura Y, Matsushima J, Kunitake H, Murakawa T, Hara-guchi Y, Kunitake Y, Maekawa T, Kato T.A, Asami T, Monji A: Changes in interleukin-1 beta induced by rTMS are significantly correlated with partial improvement of cognitive dysfunction in treatment-resistant depression: a pilot study. *Psychiatry Res* Vol. 289, 112995, 2020, 7.
- 4 Orihashi R, Mizoguchi Y, Imamura Y, Yamada S, Ueno T, Monji A: Oxytocin and elderly MRI-based hippocampus and amygdala volume: a 7-year follow-up study. *Brain Commun* 2(2): fcaa081, 2020, 6.
- 5 \*Maruyama S, Boku S, Okazaki S, Kikuyama H, Mizoguchi Y, Monji A, Otsuka I, Sora I, Kanazawa T, Hishimoto A, Yoneda H: ATP and repetitive electric stimulation increases leukemia inhibitory factor expression in astrocytes: A potential role for astrocytes in the action mechanism of electroconvulsive therapy. *Psychiatry Clin Neurosci* 74(5): 311-317, 2020, 5.

## 総説

- 1 門司 晃：高齢者の気分障害の診断に関して. *精神科診断学*, 13(1)：13-19, 2020, 3.
- 2 門司 晃：老年期発症の統合失調症と神経炎症. *老年精神医学雑誌 特集：老年期精神神経疾患と神経炎症*, II. 各論, 31(7)：736-742, 2020, 7.
- 3 門司 晃：NMDA 受容体を介した memantine の抗認知症作用と特徴的な臨床プロファイル. *臨床精神薬理 特集：興奮性アミノ酸の臨床精神薬理学*, 23(8)：793-798, 2020, 8.
- 4 門司 晃：認知症と炎症：アルツハイマー病を中心に. *最新精神医学 特集：炎症と精神疾患*, 25(6)：467-471, 2020, 11.
- 5 溝口義人：Psychiatric Lecture：病態 うつ病と認知症の共通病態としての神経炎症. *精神科臨床 Legato*, 6(3)：144-148, 2020, 12.
- 6 松島 淳, 門司 晃：精神神経科の立場から－名付けることの意味. *医学のあゆみ 特集：糖尿病とステイグマ：Cure, Care から Salvation（救済）へ*, 273(2)：162-166, 2020, 4.
- 7 松島 淳：【書評】 来談者のための治療的面接とは－心理臨床の「質」と公認資格を考える（増井武士著 遠見書房, 2019年）. *ブリーフサイコセラピー研究*, 28(2)：94-95, 2020, 3.

## 学会発表

### 国内全国規模の学会

- 1 門司 晃：神経免疫と認知症・精神疾患 精神疾患における神経炎症. 第32回日本神経免疫学会学術集会. 2020, 10, 1-2 (LIVE 配信), 2020, 10, 6-31 (オンデマンド配信). 抄録集 71.
- 2 門司 晃：気分障害と認知症：アルツハイマー病を中心に. 公益社団法人日本老年精神医学会 第31回生涯教育講座. 2020, 11, 20-12, 20. 抄録集 14.
- 3 溝口義人：新規治療標的としてのミクログリアの可能性－うつ病と認知症の共通病態としての神経炎症－. 第50回日本神経精神薬理学会年会・第42回日本生物学的精神医学会年会・第4回日本精神薬学会総会・学術集会 (NPBPPP2020) 合同年会. 2020, 8, 21-23, (オンデマンド配信：8, 31まで). 抄録集 21.
- 4 國武 裕, 上村聡子, 松島 淳, 丸山暁人, 小嶋亮平, 平川奈緒美, 門司 晃：多職種連携による家族関係の修復が有効だった慢性疼痛の一例. 第49回日本慢性疼痛学会. 2020, 7, 1-31 (Web開催), 2020, 12, 11-12 (縮小開催). 抄録集 119.
- 5 松島 淳：再考, 当事者と倫理と研究者：医療分野における質的研究の貢献. 日本質的心理学会第17回大会. 2020, 10, 24-25. プログラム抄録集 23-24.
- 6 \*角南隆史, 宋 龍平, 石井博修, 貞嶋栄司, 上野雄文, 杠 岳文, 門司 晃：問題飲酒者に対するオンライン版飲酒日記の有効性の評価 (パイロット RCT). 第116回日本精神神経学会学術総会. 2020, 9, 28-30 (ライブ配信), 2020, 9, 28-10, 31 (オンデマンド配信). 抄録集 s-449.

### その他の学会

- 1 門司 晃：外来におけるうつ病治療について－うつ病の神経炎症仮説とデュロキセチンの位置付け－. 徳島うつ病治療懇話会. 2020, 1, 30. 抄録集.
- 2 門司 晃：精神疾患と生活習慣病－うつ病と糖尿病の関係から－. 第7回 Depression Conference in 鳥栖. 2020, 2, 4. 抄録集.
- 3 門司 晃：外来におけるうつ病治療について－うつ病の神経炎症仮説とデュロキセチンの位置付け－. サインバルタ MDD Web 講演会. 2020, 5, 25. 抄録集.
- 4 門司 晃：外来におけるうつ病治療について－うつ病の神経炎症仮説とデュロキセチンの位置付け－. Interactive Web Seminar 広島. 2020, 8, 18. 抄録集.
- 5 門司 晃：大学病院精神科の現状. ヤンセンファーマ社内研修会. 2020, 8, 20. 抄録集.
- 6 門司 晃：双極性障害について. 大日本住友製薬社内研修会. 2020, 9, 8. 抄録集.
- 7 門司 晃：高齢者の気分障害と認知症の関係. うつ病の病態生理を考える会. 2020, 10, 5. 抄録集.
- 8 門司 晃：大うつ病治療の最新の知見について－トリンテリックスへの期待－. MDD WEB Forum in SAGA. 2020, 11, 25. 抄録集.
- 9 門司 晃：糖尿病と精神疾患の合併によって臨床的に何が問題となるか?. 第18回佐賀西部地区糖尿病セミナー. 2020, 12, 3. 抄録集.
- 10 門司 晃：外来におけるうつ病治療について－うつ病の神経炎症仮説とデュロキセチンの位置付け－. Depression Expert WEB－うつ病に立ち向かう－. 2020, 12, 23. 抄録集.
- 11 溝口義人：精神疾患について. 令和2年度いのちの電話相談員養成講座. 2020, 9, 19. 抄録集.
- 12 立石 洋：当院における rTMS (反復性経頭蓋磁気刺激) 療法の現状. うつ病の新しい治療を考え

- る。2020, 2, 13. 抄録集.
- 13 松島 淳：痛み診療における多職種連携の意義. 神経障害性疼痛を考える会. 2020, 1, 28. 抄録集.
  - 14 松島 淳：がんサロンでのより良いコミュニケーションのために. 令和元年度佐賀県がんピアサポーター・フォローアップ研修. 2020, 2, 9. 抄録集.
  - 15 松島 淳：傾聴とコミュニケーション—聴き上手になるために. 令和2年度佐賀がんピアサポーター養成講座. 2020, 11, 29. 抄録集.
  - 16 松島 淳：ピアサポーターとしてより良いコミュニケーションのために. 令和2年度佐賀がんピアサポーター養成講座. 2020, 12, 13. 抄録集.
  - 17 松島 淳：がん患者の心理的問題. 第8回佐賀がんリハビリテーション研修会. 2020, 7, 4-5. 抄録集.
  - 18 松島 淳：患者さんのニーズに応えるアプローチ. 第33回内分泌糖尿病心理行動研究会. 2020, 11, 7. 抄録集.
  - 19 松島 淳：こころの健康について. 令和2年度自殺予防一般県民向けセミナー. 2020, 9, 12. 抄録集.
  - 20 村川 徹, 永浜千賀, 酒村勇太, 菊地 潤, 小嶋亮平, 馬渡星示, 野上耕二郎, 川崎美紀子, 祖川倫太郎, 松島 淳, 立石 洋, 國武 裕, 溝口義人, 門司 晃：当科におけるコンサルテーション・リエゾン活動の現状と院内一般人措置通報を行った3症例. 第219回佐賀精神科集談会. 2020, 10, 28. 抄録集.
  - 21 村川 徹：佐賀大学医学部附属病院におけるレンポレキサントの使用経験. デエビゴ Premium Digital Seminar. 2020, 12, 9. 抄録集.
  - 22 野上耕二郎：医院開業事例報告. 今から学ぶ病院管理医療経営セミナー. 2020, 10, 10-11. 抄録集.
  - 23 野上耕二郎：DV・面前DVが被害者に及ぼすところへの影響. 令和2年度 女性に対する暴力防止講演会. 2020, 11, 26. 抄録集.
  - 24 野上耕二郎：DV（面前DV）が被害者に与える心の影響. 鹿島・嬉野・藤津地区における養護教諭部会研修会. 2020, 12, 22. 抄録集.
  - 25 小嶋亮平, 諸隈 暢, 立石 洋, 門司 晃：不眠を含むせん妄が前駆し, 後にアルツハイマー型認知症と診断された一例. 佐賀県医師会学術講演会. 2020, 8, 27. 抄録集.
  - 26 菊地 潤：口腔内セネストパチーにクロナゼパムとマインドフルネス療法が奏功した1例. 第21回佐賀痛みを考える会. 2020, 9, 17. 抄録集.

## 研究助成等

| 職名        | 氏名    | 補助金(研究助成)等の名称              | 種目                | 研究課題等  | 交付金額<br>(千円) |
|-----------|-------|----------------------------|-------------------|--|--------------|
| 教授        | 門司 晃  | 厚生労働行政推進調査事業<br>費補助金       | 慢性の痛み対<br>策事業(分担) | 慢性疼痛診療システムの均てん化と痛<br>みセンター診療データベースの活用に<br>よる医療向上を目指す研究 | 200          |
| 教授        | 門司 晃  | 塩野義製薬株式会社                  | (代表)              | 健常高齢者の抑うつ状態発現および認<br>知機能低下を予測するバイオマーカー<br>の探索の研究       | 800          |
| 教授        | 門司 晃  | 第一三共株式会社 第一三<br>共奨学寄付プログラム | (代表)              | 健常高齢者の抑うつ状態および認知機<br>能低下を予測するバイオマーカーの開<br>発            | 300          |
| 教授        | 門司 晃  | 日本イーライリリー株式会社              | (代表)              | 精神炎症仮説に基づく精神疾患の研究                                      | 700          |
| 教授        | 門司 晃  | 大日本住友製薬株式会社                | (代表)              | 反復性経頭蓋磁気刺激による難治性う<br>つ病治療に関する研究                        | 200          |
| 教授        | 門司 晃  | 大塚製薬株式会社                   | (代表)              | 経頭蓋磁気刺激による治療抵抗性う<br>つ病治療に関する研究                         | 300          |
| 准教授       | 溝口 義人 | 科学研究費助成事業                  | 挑戦的研究<br>(萌芽)(分担) | 高齢者における来世信念の健康への影<br>響とその脳内機序                          | 230<br>(445) |
| 助教        | 立石 洋  | 科学研究費助成事業                  | 基盤研究(C)<br>(代表)   | 反復性経頭蓋磁気刺激による治療抵抗<br>性うつ病の治療メカニズムの探索                   | 1,690        |
| 助教        | 村川 徹  | 科学研究費助成事業                  | 基盤研究(C)<br>(代表)   | せん妄群と非せん妄群における血中の<br>単球から誘導したミクログリア様細胞<br>の動態比較        | 520          |
| 客員<br>研究員 | 原口 祥典 | 厚生労働科学研究費補助金               | (分担)              | ヒト末梢血誘導型ミクログリア細胞技<br>術を用いた食品の神経毒性評価システ<br>ムの開発         | 500          |

※ ( ) は繰越金で外数